

令和6年度 第1回民間技術説明会を開催しました！

《日 時》 令和6年11月18日(月) 13:30～16:25

《紹介技術》

- | | |
|--------------------------------------|-------------------|
| ①調査・点検用水上スライダー「Hy CaT」 | (株式会社 東京久栄) |
| ②プレキャスト上部工の鉄骨差込み接合工法
SFI ジョイント工法～ | (東亜建設工業株式会社) |
| ③安定計測電波式水位計 | (株式会社マツシマ メジャテック) |
| ④既設栈橋の更新技術 (合成床板ジャケット) | (JFEスチール株式会社) |
| ⑤栈橋補強 (深梁工法) | (JFEスチール株式会社) |
| ⑥防波堤上部工のプレキャスト製品化 | (共和コンクリート工業株式会社) |

調査・点検用水上スライダー 「Hy-CaT」

栈橋下部や暗渠内等の調査や点検を行うための無人水上艇 (USV) の紹介。調査員や潜水士の立ち入り省略。



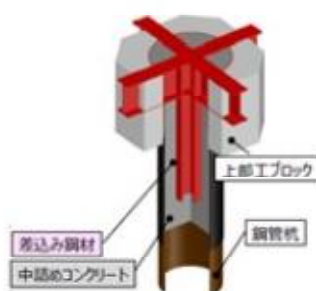
既設栈橋の更新技術 (合成床板ジャケット)

鋼橋の床版で採用されている合成床版を、ジャケット式栈橋の床版へ適用したものの。栈橋の新設工事において床版工事の工期短縮、工費削減、施工時隣接パースの荷役へ影響低減。



プレキャスト上部工の鉄骨差込み 接合工法 ～SFI ジョイント工法～

鋼管杭の内部に挿入した差込み鋼材と、鋼管杭内部に打ち込んだ中詰コンクリートからなる「差込み部材」を介して、プレキャスト上部工と鋼管杭の荷重伝達を行う接合技術についての紹介。海上作業の省人化・省力化、工程短縮。



栈橋補強 (深梁工法)

既設栈橋の杭に鋼製梁部材を追加することで、耐震強化、船舶の大型化、水深拡大等に対応可能になる栈橋補強工法。従来の増杭やジャケット置換工法と比べ工期短縮、工費低減。



安定計測電波式水位計

電波式を採用することにより、暴風雨や濁流、堆積泥砂、流速変化の影響を受けることなく、安定した計測が可能となり、同時に濁流で流されるリスク回避を実現した水位計。



防波堤上部工のプレキャスト製品化

従来、現場打で施工していた防波堤上部工の一部をプレキャスト化することにより、工期短縮、省人化、被災リスク低減、安全性に寄与する、現場のニーズに応える製品群の紹介。

